

## 地震避難訓練、起震車体験、消防署見学



数秒前に地震を感知する緊急地震速報を聞くと、すぐに机の下に潜り込み、机の脚をつかんで落下物から身を守りました。その後の避難も「お・は・し」（おさない、はしらない、しゃべらない）を守って素早く行動できました。



身近な物で頭部を保護しながら、建物から素早く避難しています。一次避難後、洪水を想定し高台へ二次避難をしました。急な坂道を6年生が1年生の手を引き誘導しました。地震後予想される様々な二次被害を想定した訓練ができました。



避難訓練後、スモーク体験と起震車体験を行いました。起震車体験では、テーブルやイス等が設置されている一般家庭を想定した中で、地震の疑似体験をしました。大きな揺れを体験することにより、日々の準備や「自分の身は自分で守る」ということを学びました。



吉備・金屋消防署へ見学に行かせてもらいました。消防署の歴史や火災の恐ろしさについてスライドでわかりやすく説明してくれました。司令室や消防車両も見学させていただきました。消防士さんのダイナミックかつ迅速な訓練活動に、子どもたちは息を飲んで見入っていました。



■問い合わせ  
金屋庁舎 こども教育課  
☎ 52-2111

